

これまで展開されてきた主な人材育成プログラムの例

< 高等教育機関 >

	機関の位置づけ 政府施策との関連	名称及び概要	設置経緯
大阪大学	H13 年度科学技術 振興調整費・新興 分野人材養成	名称等 サイバーメディアセンター「セキュア・ネットワーク構築のための人材育成プログラム」(Secure Net) 目的・内容 情報系専攻学生や社会人を対象に、講義中心の「基礎コース」と、実運用ネットワークにおける運用 経験(OJT)を積む「応用コース」により、ネットワーク現場での即戦力の育成を目指す。	H13 年度： 「基礎コース」開始 H14 年度： 「応用コース」開始 H17 年度に終了
早稲田大学	同上	名称等 理工学部コンピュータ・ネットワーク工学科「セキュリティ技術者養成プロジェクト」 目的・内容 学部学生向け及び大学院生向けの 3 講座、Microsoft 社との連携 4 講座	H14 年度：開講 H16 年度：Microsoft 社との連携講座開始
中央大学	H14 年度 21 世紀 COE プログラム H15 年度科学技術 振興調整費・新興 分野人材養成	名称等 「情報セキュリティ副専攻」(大学院理工学研究科)「電子社会の信頼性向上と情報セキュリティ」(21 世紀 COE プログラム)「情報セキュリティ・情報保証 人材育成拠点」(科学技術振興調整費) 目的・内容 「情報セキュリティ副専攻」：工学系に社会系科目を加え、総合的な広い視野をもった人材を育成 「電子社会の信頼性向上と情報セキュリティ」：高度な研究者の育成 「情報セキュリティ・情報保証 人材育成拠点」：実践教育を中心とした技術者を育成	H14 年度：COE プロ グラム開設 H15 年度：副専攻、 人材育成拠点開設
工学院大学	H15 年度科学技術 振興調整費・新興 分野人材養成	名称等 技術者能力開発センター(CPD センター)「セキュアシステム設計技術者育成プログラム」 目的・内容 社会人を中心に、セキュアなシステムを設計できる技術者を、講義と PBL により産学連携で育成。	H16 年度：開講
東京電機大学		名称等 大学院工学研究科「情報セキュリティ講座」 目的・内容 東京電機大学が SEA/J と連携した学生・社会人の双方を対象とし、「暗号とその応用」、「ネットワー クのセキュリティ」、「不正進入対策の実施」を実施。	H16 年度、H17 年度 の 2 年間実施

情報セキュリティ 大学院大学	大学院大学	名称等 情報セキュリティ研究科 情報セキュリティ専攻 修士課程 目的・内容 情報セキュリティエンジニア、情報セキュリティマネージャの育成を目的とした大学院大学。博士前期課程（1年制及び2年制）、博士後期課程（原則3年制）からなる。	H16年度： 博士前期課程開講 H17年度： 博士後期課程開講
カーネギーメロン 大学日本校	文部科学大臣指定 外国大学院日本校	名称等 情報セキュリティ研究科修士課程（MSIT-IS） 目的・内容 企業組織等のCISO、コンサルタント、教育者や研究者など、技術と経営・政策の双方に通用する情報セキュリティの高度人材を育成するプログラム（期間：1年4ヶ月、修了単位数144単位）	H17年度：開講

< その他 >

	政府施策との関連	概要	設置経緯
(株)横須賀テレコム リサーチパーク	総務省 情報通信人材研修 事業費補助金	目的・内容 大規模なネットワークシステムを模した研究設備を用いた実践中心の研修により、実践的保守・運用スキルの習得及びマネジメントの実践対応能力の向上を図る。 座学中心コース（2日間）：「技術レイヤ」向け基礎コース、「管理レイヤ」向け基礎コース システム実習中心コース（3日間）： 「イントラ・エクストラネットコース」、「Web ビジネスサイトコース」	H17年度：開講
(財)ひょうご情報 教育機構	同上	目的・内容 典型的な大規模ネットワーク環境を構築し、侵害事案を主体とした実践的カリキュラムにより、基礎から高度なレベルの階層研修を実施。 「共通コース」（初級）：2日間、「基礎コース」（中級）：14日間、「応用コース」（上級）：14	H18年度：開講
(財)ソフトピアジ ャパン	同上	目的・内容 典型的な企業内ネットワークとインターネット環境を仮想的に構築し、インシデントに対応するための業務面・技術面双方における対応手順を習得。 テクニカル系：テクニカルコース（2日間）、テクニカル実践コース（5日間） マネジメント系：マネジメントコース（2日間）、マネジメント実践コース（5日間）	H18年度：開講